

パージェタ+トラスツズマブ+w パクリタキセル療法

患者番号: 氏名: 性別: 年齢:

がん種 (適応)	乳癌		
開始年月日	年 月 日	1 コース期間	21 日間
体格	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	グラニセトロンゼリー (+デキサート注 6.6mg)
特記事項 (パージェタ)	※1【投与時間について】 初回 60 分、2 回目以降 30 分まで短縮可能 【投与量について】 前回から 6 週間以上あく場合は初回量となる		
特記事項 (トラスツズマブ)	※2【投与時間について】 初回 90 分、2 回目以降は 30 分まで短縮可能 【投与量について】 前回から 6 週間以上あく場合は初回量となる (トラスツズマブ単独の場合は添付文書に従い 5 週間以上あく場合は初回量で) 【投与における心機能検査について】 心エコーを実施する (心疾患あり: 6-8 週毎、心疾患なし: 12 週毎)		
特記事項 (パクリタキセル)	アレルギー予防のデキサートは、症状がなければ半量ずつ減量が可能です。 (最低用量: 1.65mg1A)		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール		
			Day1	Day8	Day15
パージェタ	初回 840mg (840mg/body)	※1			
	2 回目以降 420mg (420mg/body)		●	×	×
トラスツズマブ	初回 mg (8mg/kg)	※2			
	2 回目以降 mg (6mg/kg)		●	×	×
パクリタキセル (12 回まで)	mg (80mg/m ²)	1 時間	●	●	●

【処方が必要な内服薬】

※初回のみ ジクロフェナク坐薬 25 mg トラスツズマブ開始 30 分前
※2 回目以降必要時 カロナール (200) 2 錠 トラスツズマブ後の発熱時
レスタミン錠 (10) 5 錠 パクリタキセルの 30 分前
グラニセトロンゼリー 2 mg 1 包 パクリタキセルの 30 分前

- HBs 抗原(+) → **消化器内科紹介**
HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3 ヶ月毎 定量
 HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)- → HBV-DNA 定量(+) → **消化器内科紹介**

指示医師サイン _____